

統合用水

福井県今立郡池田町を流れる統合用水は、足羽川の源流のひとつである水海川から取水され、下流の農地を潤す農業用水として、昭和38年（1963年）に造成されました。

統合用水は、池田町の田楽能舞(文部科学省重要無形民族文化財指定)で知られる鵜甘神社の参道脇を流れており、水海川から取水された清流は、神社の景観に溶け込み、神社を寄り神秘的な雰囲気を引き立てています。

池田町水海地区に伝わる「水海の田楽能舞」は、およそ700年前に時の執権北条時頼がこの地を訪れた際に伝えられたもので、鵜甘神社では毎年2月15日に「田楽能舞」が厳かに奉納されます。

